



さいとうまさひろ  
市議会 齋藤昌秀 議員

## 防災について

**問** 災害対策マニュアルについて、市では現状において、地震や津波などの対策マニュアルは策定されていると思います。年々、規模が大きくなっていく災害に対して、それに対応した災害対策マニュアルをしっかりと策定していく必要があると思いますが、対策はとられているのか伺います。

**答** 総務部長 現在、市では、地域防災計画、業務継続計画、災害時職員初動マニュアル(地震・津波編)の策定をしています。

ご指摘のとおり、今回の一連の風水害において、災害時職員初動マニュアル(地震・津波編)を準用することに無理があることが確認できています。

今後、明らかになった問題点や教訓事項について協議を重ね、対策を確立し、これを取りまとめた災害時職員対

応マニュアル(風水害編)の策定を考えていきます。



台風による倒木・電柱倒壊

**問** 市は、さまざまな企業と防災協定を締結していますが、今回の災害では、それらが十分に活用できなかったように見受けられます。

一例を挙げると、災害協定を結んでいる白幡工業団地にある(株)アクティオは、発電機や、重機等を全国的にレンタルしている業者です。この企業へ発電機の借用を依頼したようですが、残念ながら、運ぶ段階で運搬手段がなく、借用できなかったと聞いています。そういった際に、輸送手段を持っている地元の民間企業と連携し、輸送手段を確保しておくことが必要だと考えます

が、今後の対応について伺います。

**答** 総務部長 (株)アクティオとは今までも災害協定を結んでいましたが、令和元年の夏に協定の見直しを行い、災害時に必要な機材数についても、相互に確認をしたところでした。確かに、(株)アクティオから発電機を調達できなかったことは、輸送ができなかったことによりです。輸送手段を確保するために、今年、協定を結んでいる山武市トラック協会と千葉県トラック協会に連絡をしました。が、なかなか調整が進まず、そうした中、東京電力の電源車が借用可能となりました。そのため、東京電力の発電機を借用し、対応しました。

今回の教訓として、災害発生後の連絡手段、協定内容の履行の要領について、詳細に確認をし、災害協定の実効性を高める必要性を感じています。今後、災害協定の確実な履行の要領について確認をしていきます。

**問** 今回、災害時に、千葉ドローン協会に所属する(株)Digit Worksや、水が使用できず、洗濯に困っている人たちに向けて、コインランドリーを運営する企業などが、早い段階で協力の声を上げてくれました。例えば、千葉ドローン協会が協力してくれる場合、災害発生時に、ドローンでの空撮による素早い被害状況の把

握が行えるようになると考えられます。今後は、こういった企業とも連携をしていくべきだと思いますが、市としては、どう考えているか伺います。

**答** 総務部長 被害状況の確認等において、ドローンの有効性については理解をしています。ドローンについては、今年に入ってから、災害以外での使用も考え、企業による説明を受けています。

今後、災害時の即時性や災害以外での運用、維持管理を含め、市として保持するのか、また、企業との連携がよいのかも含め、検討していきたいと考えています。

また、今回の一連の風水害で、協定の必要性を感じた分野についても、企業や団体等と協定を結んでいきたいと考えています。



空撮を行うドローン